

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2023 実績	年度	2024	2025	2026	2024年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
介護予防教室の開催、介護予防サポーターの育成を継続的に行い、またリハビリ教室での一定期間・定期的な支援からの集いの場づくりを展開する。	身近な場所で気軽に集いの場として交流を図りながら、介護予防への取り組みを続けることが自立した生活を送ることができる。		目標	43箇所	43箇所	44箇所	介護予防教室参加者の高齢化で人数も減少傾向であった。そのため、他事業などで介護予防教室の周知に努め、参加者の集客を行った。	△	参加者の高齢化や減少から、存続が難しくなっている場所も出てきているが、介護予防教室が市民の介護予防や健康管理に役立てていけるものとなるよう、今後も地域への支援を継続し、若い世代への参加も働きかけるよう努める。
		60箇所	実績	43箇所					
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

※ 行数が不足する場合等は、適宜追加してください。